

動物用 管理医療機器 その他の内臓機能検査用器具
トノベツト

再使用禁止（プローブ）

【禁忌・禁止】

- ・ プローブはディスポーザブル製品なので再使用は絶対にしてはいけないこと。
- ・ プローブが落下するおそれがあるので装填部を下に向けないこと。

【形状・構造及び原理等】**

1. 構成

- a. トノベツト本体
- b. プローブ

先端部原材料：ポリブチレンテレフタレート (Valox312c)

- c. プローブベース

なお、本品は各構成部品単体でも製造販売することがある。

2. 形状



a. トノベツト本体



b. プローブ



c. プローブベース

3. 電氣的定格および分類

- ・ 電源電圧： 6V（単3形アルカリ電池4本）
- ・ 電撃に対する保護の形式： 内部電源機器
- ・ 電撃に対する保護の程度： B形装着部をもつ機器

4. 原理

本品は、本体、プローブ、プローブベースで構成され、猫、犬等の小動物の眼圧を測定する目的で使用する。

眼圧は、専用のプローブが低速で角膜に一瞬接触してはねかえる際の作動変数をマイクロプロセッサにより計算することにより算出される。

5. 仕様

- ・ 眼圧測定範囲：1～99mmHg
- ・ 動作環境条件：
 - 温度 +10℃～+35℃
 - 湿度 30%～90%（結露しないこと）
 - 気圧 800hPa～1060hPa

【使用目的又は効果】

使用目的：

猫、犬等の小動物の眼圧を測定する。

効能又は効果：

反発法を用いた技術により、眼圧測定を行う。

【使用方法等】

〈プローブの装填〉

- ・ 開封前のプローブは清潔に保たれています。
- ・ オートクレーブ滅菌はご使用になれません。

1. プローブが個包装されたケースの蓋を開け、本体の装填部にプローブをシャフト部から挿入する。
2. プローブが挿入されたことを確認してケースを取り外す。

〈電源入力〉

1. プローブが本体から落下しないよう、本体を垂直または上向きに保持する。
2. 測定ボタンを押して電源を入れる。
3. 測定の準備が整うと、ディスプレイに「00」が表示される。ディスプレイに「LoAd」の表示が出た場合は、プローブが正しく装着されていない可能性があるため、プローブが落下していないこと等を確認し再度測定ボタンを押す。

〈測定〉

1. 対象動物保持・固定する。
2. プローブの向きを角膜中心部に向けて水平に保ち、プローブ先端が角膜中心部から4～8mm離れた位置で保持する。
3. 測定ボタンを押し、測定を開始する。プローブヘッド先端が角膜中心部に接触し跳ね返ることにより測定を行う。正しく測定されると「ピッ」と電子音が鳴る。「ピピッ」と電子音が2回鳴った場合はエラーなので、測定ボタンを押してエラーメッセージを消し、再度測定を行うこと。
4. 3. の操作を6回繰り返すと「ピー」と電子音が鳴り、ディスプレイにdの文字に続いて測定値の最終結果が表示される。
5. 測定ボタンを押すと初期状態「00」に戻る。

〈終了〉

1. セレクトボタンの右または左を押し、「End」表示させる。
2. 測定ボタンを2秒間押し続けると、「byE」と表示された後、電源が切れる。
3. 使用済みのプローブを本体から取り外す。使用済みのプローブは適切に破棄すること。

取扱説明書を必ずご参照下さい。

【使用上の注意】

一般的注意事項：

- ・ 熟練した者以外は使用しないこと。
- ・ 装置を設置するときには、次の事項に注意すること。
 - 水のかからない場所に設置すること。
 - 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、硫黄分などを含んだ空気などにより悪影響を生ずるおそれのない場所に設置すること。
 - 傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）など安定状態に注意すること。
 - 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に設置しないこと。
 - 電源の周波数と電圧および消費電力に注意すること。
- ・ 装置の使用中は、次の事項に注意すること。
 - 装置全般及び測定動物に異常のないことを絶えず監視すること。
 - 装置全般及び測定動物に異常が発見された場合には、安全な状態で装置の作動を止めるなど適切な措置を講ずること。
- ・ 装置の使用後は、次の事項に注意すること。
 - 定められた手順により停止動作を行い電源を切ること。
 - 装置及び付属品は次回の使用に支障のないよう必ず清浄にし、適切に保管しておくこと。
- ・ 故障したときは勝手にいじらず適切な表示をおこない、修理は専門家にまかせること。
- ・ 装置は改造しないこと。

本器固有の注意事項：

- ・ 本機器は動物用の眼圧計なので、他の用途に使用しないこと。
- ・ 上向きや下向きで使用しないこと。
- ・ バッテリー交換、プローブベース交換以外の目的で本体を開けたり分解したりしないこと。
- ・ バッテリー交換、プローブベース交換は取扱説明書の記載に従うこと。
- ・ 湿度の高い場所で使用しないこと。
- ・ プローブベース、バッテリーカバー、カラー、プローブは非常に小さいため、子供や動物等が誤飲しないよう注意すること。
- ・ 麻酔薬など引火性のあるものの近くで本器を使用しないこと。
- ・ 測定前に、新しい清潔なプローブが装着されていることを確認すること。
- ・ プローブの先端部にはプラスチックの丸い小さなチップ（プローブヘッド）がついていることを確認すること。
- ・ 本体は微生物汚染を防ぐため、定期的にアルコール溶液などの消毒液で清拭すること。
- ・ 測定中、目に接触するのはプローブの先端部のみであるので、本体を目に無理に押し付けけないこと。
- ・ 測定は麻酔薬を使用せずに行うこと。麻酔薬の使用によって測定値が低下し、正しい値が得られないおそれがある。
- ・ 本機器を長期間使用しない場合は、電池漏れを防ぐため電池をはずしておくこと。
- ・ プローブは使い捨てであるため、使用したものは正しく廃棄すること。
- ・ 測定動物が本器に噛みついたりしないよう、必要に応じて鎮静剤を使用すること。
- ・ 本器は EMC 要求事項を満たしているが、携帯電話など高い電磁的影響を及ぼす機器の近くでは動作障害を起こす可能性があるため使用しないこと。また繊細な機器に対し影響を与える恐れもあるので注意すること。

【保管方法及び有効期間等】**

本器を保管するときには、次の事項に注意すること。

- ・ 汚れ及び水分を完全に除去してから保管すること。
- ・ 水のかからない場所に保管すること。
- ・ 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、硫黄分などを含んだ空気などにより悪影響を生ずるおそれのない場所に保管すること。
- ・ 傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）など安定状態に注意すること。
- ・ 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないこと。

使用期間

- ・ プローブは単回使用に限り、再使用はしないこと。

耐用期間

- ・ プローブベース：半年 [自己認証による]

【保守・点検に係る事項】**

使用者による保守点検事項

- ・ 本体は消毒液を含ませたやわらかい布で清拭すること。
- ・ 装置及び部品は必ず定期点検を行うこと。測定値にずれがないことを定期的に確認すること。
- ・ 使用前には必ず装置が正常にかつ安全に作動することを確認すること。プローブに変形等の異常が無いことを確認すること。
- ・ プローブの作動不良が発生する場合はプローブを交換すること。それでも解消されない場合はプローブベースの交換をすること。
- ・ 電池交換及びプローブベースの交換は取扱説明書に従って行うこと。
- ・ プローブベースは半年ごとに交換すること。
- ・ 使用済みのプローブは廃棄すること。
- ・ 本体は絶対に分解しないこと。

業者による保守点検事項

- ・ 上記「使用者による保守点検事項」を超える保守・点検及び修理については製造元に依頼すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】*

製造販売業者：

株式会社エムイーテクニカ

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨 1-34-4

TEL: 03-5395-4588 FAX: 03-5395-4866

製造業者：

アイケア・フィンランド/ Icare Finland Oy

フィンランド

取扱説明書を必ずご参照下さい。